



惜陰の子ら

令和5年4月13日
鯖江市惜陰小学校
学校だより NO.2

始業式 令和5年度1学期スタート ～始業式でお話したこと～

おはようございます。1年生を気遣いながら、登校してくる皆さんの「笑顔」と「あいさつ」に朝から元気もらいました。1年生は、晴れて惜陰小学校の仲間入りをしました。2年生以上の皆さんは、全員が一つ上の学年に進級し、教室も替わりました。3、4、5年生はクラス替えがあり、担任の先生が代わったクラスもたくさんあるので、とても新鮮な気持ちでいることと思います。

今年の惜陰小学校の児童は400人、先生は44人。合計すると444人です。日本では4という数字はあまりいいイメージはないのですが、4が3つ並ぶ444という数字は「全部うまくいく」というとてもいい意味があるそうです。といっても、何もしないで待っているだけでは「うまくいく」ことは難しいですね。惜陰小学校の令和5年度のすべてが「うまくいく」ために、今日は皆さんに「心のスイッチ」についてお話します。

東井 義雄さんという人が作った「心のスイッチ」という詩を紹介します。

人間の目は ふしぎな目 見ようという心がなかったら 見ているも見えない
人間の耳は ふしぎな耳 聞こうという心がなかったら 聞いているも聞こえない
頭もそうだ はじめからよい頭 わるい頭の区別があるのではないようだ
「よし やるぞ！」と心のスイッチがはいると
頭もすばらしいはたらきをしはじめる
心のスイッチが 人間をつまらなくもするし すばらしくもしていく
電灯のスイッチが 家の中を明るくもし、暗くもするように

まずは、皆さん一人一人の「心のスイッチ」をオンにしてください。そして、「よしやるぞ！」という気持ちをもって、学習やいろいろな活動に取り組んでください。学校生活の様々な場面で、皆さんが楽しく、生き生きと活動できるように、先生方も全力でサポートします。

学校においてもマスクをしなくてもよくなりましたが、身近なところで新型コロナウイルス感染症が流行しています。しばらくの間はマスクをする、丁寧に手洗いや消毒をする、換気をするなどみんなでしっかり予防対策をしていきましょう。

校長 藤枝美由紀

入学式でお話した惜陰小学校の児童としてがんばってほしい「3つのいちばん」です。

3つのいちばん

「あいさついちばん」 あいさつした人もされた人もうれしくなります。自分から元気なあいさつをしましょう。

「やさしさいちばん」
やさしくすると、自分もみんなも幸せな気持ちになります。

「やりますいちばん」 自分のことは自分でしよう。勉強も遊びも自分から進んで一生懸命やりましょう。

4月の生活目標 「みんななかよくしよう」

児童会長はじめ3人の6年生が、4月の生活目標について発表してくれました。みんなが仲良くするために、具体的に取り組むことは次の2つです。

- 元気よく笑顔であいさつしよう。
- 他の学年の人のことを知ろう。

「あいさついちばん」児童育成部より

入学式で校長先生がお願いした「3つのいちばん」の中の「あいさつ」について、田邊先生からお話がありました。明るいあいさつが響き合う惜陰小学校をみんなでつくっていきましょう。



各学級・学年では…



係活動を決めていました。人気のある係は、譲り合いの気持ちでスムーズに決めることができました。これも「やさしさいちばん」ですね。



クラスのメンバーや担任の先生が代わり、不安な様子も見られましたが、程よい緊張感の中、学級開きが行われました。



よい姿勢を練習中の1年生。背筋が伸びています。



初登校の様子…



集団登校初日、班長は後ろの1年生を気遣いながらゆっくり歩いていました。見守り隊の方にも、目と目を合わせてあいさつができました。



5年生に配布された教科書はなんと12冊。

